

## 第 24 回環境化学討論会 自由集会紹介文

### 「石綿リスクの再確認&石綿対策の今」

世話人：山本貴士(国立環境研究所)、貴田晶子(愛媛大学)

石綿(アスベスト)問題の歴史を紐解くと、概ね 10 年ごとに大きな動きがありました。約 40 年前の 1972 年には特定化学物質障害予防規則が制定され、石綿は発がん物質として規制されました。また、約 30 年前の 1987 年には学校での吹付け石綿の使用が大きな問題となり、1989 年の大気汚染防止法改正につながっています。そして、20 年前の阪神・淡路大震災での建築物倒壊による石綿飛散や、10 年前の「クボタ・ショック」での旧石綿製品工場周辺での住民の石綿関連疾患の発覚など、石綿曝露による健康被害は、職業曝露だけでなく環境曝露によっても引き起こされるものと捉え直す機会となる事案が発生しています。

最近でも、大防法の改正や JIS 建材分析法の改正、国土交通省の建築物石綿含有建材調査者制度の新設など、石綿の対策や分析をめぐる状況は、今なお動いていると言えるでしょう。

この自由集会では、石綿対策や分析に関わる最新の動向について、フロントランナーの皆様から話題提供を頂き、今後のあるべき石綿対策の姿を皆様と考えたいと思っております。かつて、山部や布部など日本でも有数のクリソタイルの鉱山を有した北海道において、このような集会を開催できることは、大変印象深いことです。皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

### プログラム(予定)

#### 第 1 部 石綿リスク・調査者制度・測定法の動向

- 外山尚紀 氏 (東京労働安全衛生センター)：大気汚染防止法の改正と石綿飛散対策、建材 JIS の改定情報など
- 石田義人 氏 (日本環境衛生センター)：建築物石綿含有建材調査者制度
- 仲地史浩 氏 (環境管理センター)：偏光顕微鏡/ポイントカウント法による建材中のアスベスト石綿分析

#### 第 2 部 北海道石綿調査・分析グループの活動、成果、情報提供

- 齊藤進 氏 (環境科学開発研究所)：北海道における石綿調査・分析グループの活動
- 高橋徹 氏 (北海道立総合研究機構工業試験場)：トンネル工事等に於ける蛇紋岩中のクリソタイルについて
- 飯島俊匡 氏 (北海道立総合研究機構工業試験場)：アスベスト顕微鏡判別に於ける情

報処理について

- 上田一徳 氏 (北海道庁環境生活部)
- 神尾謙二 氏 (総務省北海道管区行政評価局)
- 齊藤富明 氏 (アール・アンド・イー): 中間処理におけるアスベストのながれについて
- 松原高司 氏 (北電総合設計): 石こうボードなどレベル3建材中のアスベストについて